



7月のほけんだより

令和元年 7月

虹のこころ保育園

子どもたちが楽しみにしている水遊びが始まります。水遊びは楽しい反面、限られた水の中にたくさん子どもたちがはいることで、汗や鼻水等により不潔になりやすく、水遊びが病気の媒介になる可能性があります。園でも健康管理、水質管理、安全面に努めて実施してまいります。合わせて、ご家庭でもご協力とご理解をお願いいたします。

気をつけよう！ 熱中症

夏の強い日差しや、高温多湿の気候は、子どもの体に大きな負担がかかります。なかでも心配なのが、熱中症。周囲の大人が正しい知識を身につけて、暑い夏も安全に楽しく過ごせるようにしていきましょう。

どうして起こるの？ 熱中症

汗がかけなくなることで体温調節が出来なくなるために起こります。体調にもよりますが、気温 32 度以上、湿度 60%以上の環境で、十分な水分補給をしないで運動すると発症しやすいと言われてます。さらに子どもは、大人よりも脱水症状を起こしやすいので、より注意が必要です。

- 外に出る時は、必ず帽子をかぶりましょう。
- 外に出る時間帯、長さを考慮します。
- 高温の室内や車の中での熱中症が急増しています。

絶対に、子どもをひとりにしないでください！

<園での服装について>

基本的に動きやすく、体温調節のしやすい通気性、吸水性のある服装でお願いしております。また、汚れを気にせず遊ぶことが出来、長い紐やフードのついていない洋服にして下さい。(紐や飾りは遊具に引っかかるなど、思わぬ事故の原因となります。) ご協力をお願い致します。

気をつけよう！夏に流行する病気

夏に気をつけたい感染症。代表的な3つについて、主な症状を挙げてみました。気になる症状が見られたら、早めに受診をお願いします。

ヘルパンギーナ

高熱とのどの痛み。特にのどは、水ほうや潰瘍ができるため、かなり痛む(乳児はミルクが飲めないほど)。



咽頭結膜熱(プール熱)

高熱とのどの痛みのほか、目の痛み・かゆみ・充血など、結膜炎のような症状がでる。



手足口病

手のひらや足の裏、口の中に小さな発しんや水ぼうがで、熱が出ることも。



<登園許可証明書・登園届が必要な疾患>

・咽頭結膜熱・伝染性膿痂疹(とびひ)

※必ず、登園許可証明書が必要です。

・ヘルパンギーナ・手足口病

※医師から登園停止と診断された場合は、登園許可証明書が必要になります。医師から登園可能と診断された場合には、登園届の提出をお願い致します。登園届は、当園のホームページに掲載しています。

伝染性膿痂疹(とびひ)

アトピーやあせも、虫刺され、すり傷などを手で触ったり掻いたりすると、皮膚の表面に複数の細菌が付着して繁殖し皮膚がただれたり、水ぶくれになったり、かさぶたになったりします。なかでも黄色ブドウ球菌は高温多湿を好むため、夏になると流行します。

患部を触った手で体の他の場所に触れると、感染がさらに広がります。ガーゼなどで覆って、患部に直接触れないようにしましょう。状態がひどい場合は医療機関に相談し、内服の抗生物質を処方してもらいます。子どもの間で感染しやすいので、家庭でもタオルの共有や、兄弟との入浴は控えましょう。虫刺されや擦り傷などは放置せず、しっかりと消毒をして清潔にし、とびひにならないように注意が必要です。汗をかいたらこまめに着替え、爪は短く切り、毎日シャワーを浴びて体を清潔に保つことが一番の予防法になります。



7月の保健行事

- 身体測定 10日 ひまわり、ゆり、ちゅうりつぷ組
17日 すみれ、あじさい、よつば組
- 頭髪検査 1日・22日